

薄き方とそら

水音の安けふ

以柿
鹿古

庭古風子昔毒子おを
むえんとは送別の家無
おろく影を挿く事

板はしやあの中 春江
形る新のう勢

海うけそ入日る川 里元
うしあ泥乃色

あ子形う隣とお知 路丈
し小葉う雨

あさうもささふ風あ 閑水
利く後の月

思申さそあひとく 阿藏
啼月志は

蒸をれそあはき音 鬼入
少くはあふん亮

せのこー
畑多場

